

## <R6保護者アンケートの結果に関する考察>

○全体的な評価は、概ね高い。

○「学校は、学校通信、学年通信、学校ホームページなどで、児童の様子や学校の取組みなどについて十分発信できている。」については、少しポイントが上がっている。

○「あなたのお子様は、運動会や遠足などの学校行事に生き生きと取り組んでいる。」の項目は、肯定的評価が99%とかなり高かった。今後も、児童の健やかな成長を保障する教育活動を地域や保護者と協力して進めていきたい。

○「今年から生小が参加したダンス発表会（ゆめホール）が素晴らしかった。ダンス大会や合唱コンクールは学年の児童全員を対象にしているので、教職員の負担なども考えると、この流れを続けてほしい。教職員が心と時間に余裕をもっていただくことで、大事なことに時間や労力を使っていただける。日頃の先生方のご努力に感謝しています。」とのご意見をいただいた。金管バンド廃止したばかりだが、今後続けられる音楽（学芸）関係の活動を検討していきたい。

△「あなたのお子様は、学校の様子（学習のことや友だちのこと）についてよく話をする」項目では、会話が十分でないと感じている保護者が26%となっている。良いことも悪いことも何でも話す習慣が、いじめや悩み事・困り事の早期発見にもつながるので、学校としての指導も工夫していく必要がある。

△「あなたのお子様は、家庭学習の習慣が付いている」の項目では、昨年度の評価に比べて肯定的評価が19ポイント減少している。児童に宿題や自主学習の取り組み方を具体的に示すと共に、家庭との連携を深め、家庭での学習習慣が身につけられるように工夫しなければいけない。

△「学校が行う参観日や、PTAの会合、説明会等の日時や回数、内容等は適切である。」は昨年度より評価が低くなっている。家庭訪問をはじめ、プール監視当番や愛校奉仕作業など保護者の協力を得なければいけないものも多くあり、さらには参観日と社会体育の競合、動員のかかるPTAの家庭教育研修会など、今後どのように調整を図っていくか課題である。